



柏の葉だより



市川市立第五中学校
第8号 令和4年12月6日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

1・2年校外学習から修学旅行へ

11月22日(火)鎌倉校外学習に1学年と行ってきました。コロナ禍での実施となり交通手段は東京都心を通るバスを利用する事になりました。そのため、帰宅時間が予定より、30分程度遅れてしまいましたが、紅葉の中で古都鎌倉を班毎に散策することができました。

本校では現2年生からの修学旅行は体験を重視した長野方面の修学旅行を予定しています。ここ数年のコロナ禍においては、修学旅行・校外学習について次の3点を改めて確認する事ができました。

まず第1点は、修学旅行・校外学習は生徒たちが大きく成長する機会であることです。文部科学省も『大切な教育活動』であるから安易に中止することなく実施する方向で検討すること、という通知が再三にわたって出されています。2点目は修学旅行・校外学習は他国にも例を見ない『日本の特色ある教育活動』で、日本人の旅の原点でもあり文化そのものであること。日本人のほぼすべてが経験する共通の文化体験であることです。そして3点目は、体育祭や文化祭のような学校単独では決して実施できない、『学校外の様々な人々によって支えられている特別かつ総合的な教育活動』であることです。

今回の1・2年生の校外学習はバスを利用しました。コロナ禍での実施という点を考慮してのバス利用でしたが、長野方面の修学旅行でも3日間の交通手段はバスを予定しています。今回、バスの中はガイドさんが同乗することなく、私語禁止が徹底していたようです。バスの中はクラスレクをしながら、ガイドさんの案内で楽しい時間を過ごす事が今までのバス旅行でしたが、生徒たちもコロナ禍を意識して行動していたようです。来年4月の新3年生の修学旅行のバスの中はどうか今の時点では何とも言えませんが、校外学習の集大成を図り、生徒たちの自主性と自己指導能力が高まる修学旅行になることと思います。



<紅葉の鶴岡八幡宮>



3年生校長面接から

9月下旬から始まった3年生との校長面接も8割が終了しています。あまり話したことがない大人と、校長室で二人、10分程度の緊張した一生懸命な時間を共有できたことは、校長の私にとっても、とても有意義な時間となりました。高校入試の面接に限らず、わずか数分での面接のポイントは「もう一度、この生徒と会いたい・話してみたい」と思わせる時間だったかという事です。言葉や態度・姿勢で自分自身を表現・アピールする機会(面接)には練習が必要です。そう考えると、自校の生徒であるというひいき目な評価になってしまっていますが、どの生徒も私にはもう一度会って話してみたいと思える生徒が多かったです。高校入試での面接ではぜひ、今回の校長面接の成果を十分に発揮していただきたいと思います。

12月7日(水)から12月16日(金)までは1・2年生は三者面談を行います。三者面談の一番の目的は、学校と家庭が生徒の伴奏者として、生徒個々の目標達成のための道のりを確認することだと思います。学級担任と一緒にお子様のお話をよく聞いてあげる絶好の機会にしていればと考えています。



第3回学校運営協議会

12月2日(金)第3回学校運営協議会を行いました。学校だより第4号(7月4日発行)でも紹介したように、学校運営協議会とは「学校応援団」の方々です。前回の9月は授業参観と前期学校評価を中心に協議を行いました。今回は学校運営協議会委員の方々と本校若年層教職員との懇談会を実施いたしました。(昨年度は生徒会本部役員制と懇談会)

学校運営協議会については、学校だよりなどではお知らせしておりますが、まだまだ教職員でもその存在・目的をよく知らないことが多く、今回は学校運営協議会について、知ってもらうことを目的の1つと考えました。そして若年層教員が抱える不安などについて、校長・教頭などとは違った視点で話し合うことができ、また委員の方々も毎回、校長からの学校の説明ではなく、より生徒の近くで指導している教職員の様子を見ていただければと考え、懇談会の時間をつくりました。

また、今回は第3回学校運営協議会の終了後、五中ブロック(第五中学校、大柏小学校、大町小学校、柏井小学校)の学校運営協議会を行いました。コロナ禍の影響もあり、なかなか実施できないでいたブロックでの学校運営協議会は年間1度の実施が決められています。今回はブロックの学校運営協議会委員の方々が集まり、五中ブロックの各学校の様子や課題などについて、共有することができました。



<学校運営協議会の様子>

※学校HPを随時更新しています。QRコードよりご覧ください。 <文責・川俣>